

善導寺・大橋校区の
文化財マップ

久留米市

善導寺・大橋校区の文化財

善導寺・大橋校区は、筑後川の川岸に無数にある自然堤防（河川の堆積物によってできた自然の高まり）に立地しています。川の恵みの豊かな土地ですが、日本でも有数の暴れ川である筑後川の洪水に悩まされてきた地域でもあります。この地域には縄文時代前期（約6500年前）から人々が生活しており、その足跡は現在も校区の各地に見ることができます。また、善導寺町も大橋町も、当地にある貴重な文化財が、町の名前の由来になっており、地域の人々にとってそれらの文化財がいかに大切にされてきたかが分かります。

弥生時代の前期（約2500年前）の木塚遺跡では土壙墓、木棺墓、石棺墓ぎづかいせき どごうぼ もっかんぼ せつかんぼなどのお墓が見つかっています。その他、本村内畑遺跡、古北川底遺跡ほんむらうちほた ふるきたかわぞこなどで弥生時代の土器片が見つかっています。次の古墳時代（約1750～1350年前）になると、木塚地区にたくさんのお墓が造られました。奈良時代には条里制のもと、縦横をきれいにそろえた水田がつけられました。平安時代の明確な集落跡は分かっていませんが、与田遺跡よだなどから土器片や磁器片ざいこくし おうりょうしが見つかっています。そして、鎌倉時代のはじめに、筑後在国司・押領使しやうりやうしに任命された地元の豪族・草野氏の後押しのもと善導寺が聖光上人によって開基され（1208年）、繁栄していましたが、南北朝時代や戦国時代には、戦乱に巻き込まれています。特に天正12年（1584年）には、大友氏の家臣、立花道雪たてはなみちゆきと高橋紹運が筑後に侵攻した際に、焼き討ちにあい、多くの僧侶や建物を失いました。また、豊臣秀吉の島津攻めの翌年に草野氏が滅亡したことで、有力な後援者を失った善導寺は、一時期衰退しましたが、江戸時代にはいると、筑後国主となった田中氏や、その後継に久留米藩主となった有馬氏が、善導寺ひごを庇護し、再び栄えました。

善導寺には、木造善導大師坐像もくぞうぜんどうたいしざそうを始めとする仏像や、江戸時代の建物など、多くの貴重な文化財が残されています。大橋町には、江戸時代の元禄11（1698）年、指出村さしてと石浦村いしうらの間を流れる巨勢川に、石浦大橋が架けられました。待望の頑丈な石橋で、人々に喜ばれました。現在、善導寺と石浦大橋は、修理や復元等の事業によって、往時の輝きを取り戻し、地域の歴史遺産として活用されています。

■こんなにあるぞ！善導寺・大橋校区の文化財■

No.	いせき なまえ 遺跡の名前	じだい 遺跡の時代	こんな遺跡です
1	しょうかくざんじょうどしいだあんあと 正覚山浄土寺飯田庵跡	鎌倉	ちんせいしょうにん でし けいれんしやにゅうぜいしょうにん いいだろくろう 鎮西上人の弟子の敬蓮社入西上人が、飯田六郎に 土地の寄進を受け開基したと伝わるお寺の跡です。
2	いいたかたあと 飯田館跡	鎌倉	くさの ししそ くさのながつね さんなんいいだ ろくろうながのぶ やかたあと 草野氏始祖の草野永経の三男飯田六郎永信の館跡。
3	いいたろくろういつか 飯田六郎鎧塚	鎌倉	いいたろくろう はか 飯田六郎の墓とされています。
4	きづか いせき 木塚遺跡	弥生	やよい じだい どうろほ もっかんほ せつかんほ こみんじだい ちゅうせい 弥生時代の土塚墓、木棺墓、石棺墓や、古墳時代、中世 の生活跡がありました。
5	きづか こみんぐん 木塚古墳群	古墳	きづか どうまえ ちとむら ごうふん こみんぐん 木塚・堂前・本村1～4号墳からなる古墳群です。 現在は大破しています。
6	ちとむらうちほだいせき 本村内畑遺跡	弥生	ほち 墓地
7	ざるたひこせきひ 猿田彦石碑	不明	いたび 板碑
8	よだ いせき 与田遺跡	平安～	はくじ ほじき 白磁、土師器などの遺物が散布。字名が「カワラケソノ」。
9	せいせいじ 西誓寺	室町	てんめん 天文10年(1541年)に開かれたお寺であると伝わっています。
10	ふるきたかわぞこ いせき 古北川底遺跡	弥生～	かわすな と さい とき 川砂を採った際に土器が見つかりました。
11	ふるきたいせき 古北遺跡	平安～	せきひ はくじ ほじき 石碑、白磁、土師器などが見つかっています。
12	よだなかりまむらぶんかいひょうせき 与田中嶋村分界標石	不明	村と村の境界を示す石です。
13	ぜんどうじ 善導寺	鎌倉～	
14	ちんせいしょうにんぢなびやう 鎮西上人荼毘廟	江戸	しょうこうしょうにん かそうば た せきひ 聖光上人の火葬場に建てられた石碑があります。
15	かかわしき いせき 格屋敷遺跡	古墳・鎌倉	へいせい ねん はくつちやうさき あこな みぞ こみん じ 平成12年に発掘調査が行われています。溝や古墳時 代と中世の土器が出土しています。
16	いいた わた はあと 飯田の渡し跡	安土桃山	ちくごかわざし くすたいほく めじろし たいしやうき しょう わた 筑後川岸、楠大木が目印、大正期まで使用された渡し 場の跡です。
17	えり いせき わす いし 恵利井堰の忘れ石	江戸	えり いせき きやうしゆつ わす いし 恵利井堰に供出するはずだったが、忘れられた石を 転用した墓です。
18	ほつく なんじ あと 発久南寺跡	鎌倉	えい じだい 古いお寺の跡。江戸時代に、恵利井堰を作るために
19	ほつくじ あと 発久寺跡	鎌倉	ほせき せきとうい きやうしゆつ 墓石・石塔類を供出しました。
20	いしうらあおはし 石浦大橋	江戸	
21	つねもちどの 常持殿	室町～？	こほ こかさ いし こ いしれつ 古墓。3個の重ね石と、9個からなる石列があります。
22	やまもとぐんだけのぐんぐんかいひょうせき 山本郡竹野郡界標石	不明	こせがわ ていぼう 巨勢川堤防上にあります。郡の境目を示した石です。
23	やすだもり てんじんさま 安田森の天神様	鎌倉～？	へいけ あちうど やすだ さくべえ くやう つか 平家の落人の安田作兵衛を供養するための塚だとい う伝承が残っています。

■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です
24	善導寺本堂、大門ほか	建造物(国指定)	本堂、大門、大庫裏、釜屋、広間、書院、役寮、対面所、中蔵からなり、江戸中期の建築様式を伝える貴重な資料です。
25	木造善導大師坐像	彫刻(国指定)	別ページで紹介しています。
26	木造大紹正宗国師坐像	彫刻(国指定)	別ページで紹介しています。
27	紺紙金泥観普賢經	書跡(国指定)	別ページで紹介しています。
28	善導寺経蔵	建造物(県指定)	経典を納める建物。江戸時代の1743年建立と考えられます。
29	紙本著色本朝祖師 伝絵詞	絵画(県指定)	浄土宗の開祖、法然上人の行状を描いた絵巻物。室町時代の作と推定されています。
30	梵鐘	工芸品(県指定)	善導寺の鐘。江戸時代1661年に有志の寄付で作られたものです。
31	善導寺の大樟	記念物(県指定)	巨大な樟。800年前、聖光上人が植樹されたといわれています。
32	善導寺の菩提樹	記念物(県指定)	境内に4本あるうちの2本が指定されています。
33	笠崎八幡宮の大イ チョウ	記念物(県指定)	別ページで紹介しています。
34	石浦大橋	建造物(県指定)	別ページで紹介しています。
35	木造釈迦如来坐像	彫刻(市指定)	善導寺釈迦堂の本尊です。鎌倉時代の1314年製作。もとはは三漕郡酒見浄土寺にあったものを後に善導寺に移したものです。
36	木造四天王立像	彫刻(市指定)	多聞天(毘沙門天)は平安時代(1120年)作。ほかの3体は江戸時代の作。
37	木造宝冠阿弥陀 如来坐像	彫刻(市指定)	善導寺の書院に安置されています。南北朝の1349年製作。
38	木造阿弥陀如来坐像	彫刻(市指定)	善導寺本堂の阿弥陀三尊の中尊です。形式から鎌倉時代中期の作。
39	麻・絹本著色地蔵 十王図	絵画(市指定)	地蔵とそれを取り巻く十王を描いた絵画です。朝鮮李朝の宣祖元年(1568年)の作。

■善導寺・大橋校区の歴史年表■

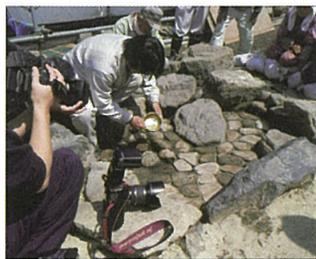
善導寺・大橋校区のできごと	時代	西暦	日本のできごと
●木塚地区に人々が住み始める (木塚遺跡)	縄文	6500年前	
●木塚地区に土墳墓などが造られる。	弥生	2500年前	稲作など弥生文化が伝わる。 吉野ヶ里に大規模な環濠集落が 営まれる。 卑弥呼が邪馬台国を治める。
●木塚地区に古墳群が造られる。 (木塚古墳、堂前古墳など)	古墳	1500年前	古墳が造られ始める。 磐井の乱(527年)
●与田地区に人々が生活する (与田遺跡)	飛鳥 奈良	1300年前 1200年前	日本が中央集権国家になる。 平城京に都を遷す。(710年) 平安京に都を遷す。(794年)
●草野氏を大檀那として、聖光 上人が善導寺を創建する。	鎌倉	1208年	鎌倉幕府が開かれる。(1192年)
●西誓寺が開かれる。 ●大友軍の立花道雪、高橋紹運 によって善導寺が焼かれる。 ●草野家清が謀殺され草野氏滅亡	室町 ・ 戦国	1584年	南北朝の内乱 大友氏、龍造寺氏、島津氏などが 九州の覇権を争う。 豊臣秀吉の島津攻め(1587年)
●田中忠政、善導寺に家康廟を つくる。	江戸	1616年	徳川家康、江戸幕府を開く。(1603年)
●有馬氏入国し、善導寺を保護する。		1621年	有馬氏が久留米二十一万石の領主 となる。
●石浦村に石橋がかけられる (石浦大橋)		1698年	
●善導寺大火災。多くの建物が 消失。20年をかけて再建される。		1748年	
●おおし歴史公園オープン。 善導寺修理事業。	明治 現代		明治維新(1868年)



遺構の調査

「善導寺の発掘調査」

建物修理に伴って発掘調査が行われ、過去の建物の遺構や、水琴窟すいじんくつなどが発見されています。



水琴窟の使用実験

大本山善導寺のいま

●重要文化財大庫裏おおくり他6棟保存修理事業
善導寺の現在の建物は、その多くが、
江戸時代の延享えんきょう5年(1748年)の大火
事後、20年間をかけて再建された
ものです。現在、本堂ほんどう・大庫裏おおくり・釜屋かまや・
広間ひろま・書院しよいん・役寮やくりょう及び対面所たいめんじよ・中蔵なかくら
が国の重要文化財に指定されています。

建立から250年がたち、老朽化が進
む建物を、建築様式を調査しながら
旧状を損なわずに修理する「善導
寺重要文化財大庫裏他保存修理事業」
が行われており、また、それにとも
なって発掘調査も行われています。

修理は、後で間違わずに組み立て
られるようにそれぞれの部材に目印
をつけて、解体します。部材の特徴
などを調査した後、腐食ふしよくしている部
分は新しい木を組み合わせて補強し
ます。建物が解体されている間に、
建物が建っていた場所を少しずつ掘
り下げ、現在は作り変えられて地上
にない遺構や、江戸時代の大火事以
前の遺構なども調査します。そして、
調査や部材の修復が終わると、元通り
に組み立てます。

このような修理によって、大切な
文化財を後世に残すことが出来ます。

この事業は平成24年度で終了します。



柱の底を礎石に合わせて削ります。



建材の朽ちた部分を新しいものに換えます。



復元された大庫裏

●善導寺の文化財

鎌倉時代から続き、大いに栄えた善導寺には、多くの貴重な文化財が残っています。

もくそうぜんどうだいしざそう
木造善導大師坐像は、本堂の南にある三祖堂の中央に安置されています。

善導大師は、中国(唐)の高僧で、浄土宗の開祖です。像は桧材で、鎌倉時代の作です。

もくそうだいじょうしょうじゅうこくし
木造大紹正宗国師坐像は、三祖堂の向かって左側に安置されています。

大紹正宗国師とは、善導寺を開いた聖光上人です。こめかみの血管まで写実的に表現してあります。

こんしきんでいかんふげんぎょう
紺紙金泥観普賢経は、紺色の紙に銀の行線をひいた中に、金でお経が書かれており、隣には象に乗った普賢菩薩ふげんぼさつが描かれています。

この他にも、木造四天王立像を始め、多くの県指定や市指定の文化財があります。



多聞天立像(市指定文化財)



木造善導大師坐像(国指定重要文化財)

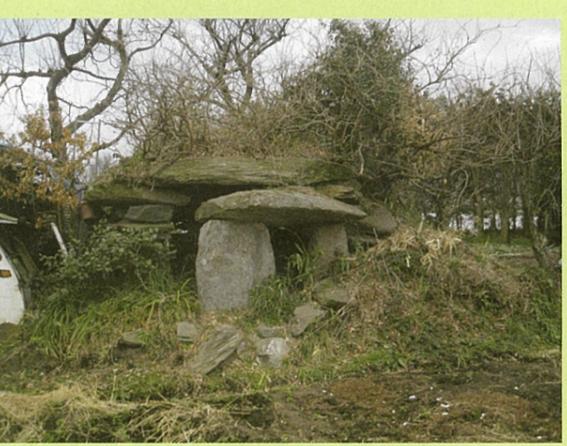
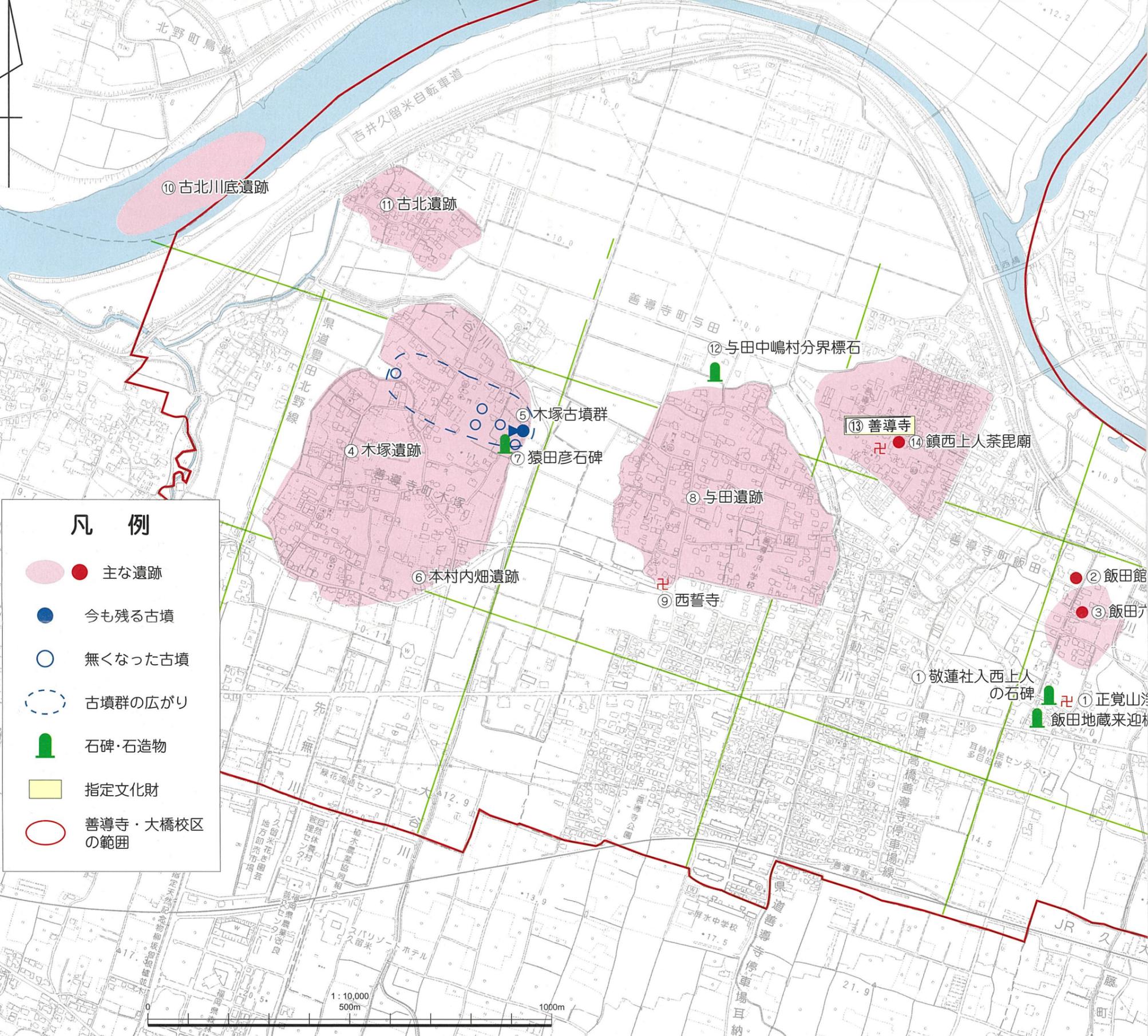


木造大紹正宗国師坐像(国指定重要文化財)



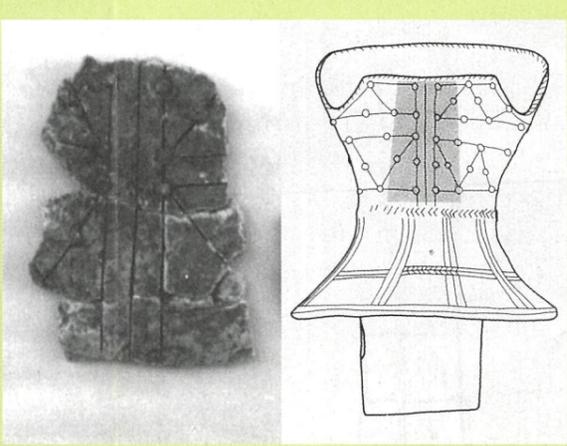
紺紙金泥観普賢経(国指定重要文化財)

善導寺・大橋校区の文化財マップ



⑤ 木塚古墳

5世紀後半に造られた横穴式石室を持つ前方後円墳。白玉や須恵器、甲冑、馬、家の形をした埴輪が出土しています。かつては周囲に五つの円墳があり、小古墳群を成していました。



⑤ 木塚古墳の形象埴輪

木塚古墳付近から出土した三角板鋌留短甲(よろい)の一種)の形をかたどった埴輪です。



⑬ 善導寺(建造物・彫)

鎌倉時代の承元2(1208)年、草光上人によって開基されました。ほとんどは江戸時代の1748年の建てられた建物で、多くが文化財に指定されています。



③③ 筥崎八幡宮の大イチョウ
(県指定)

推定樹齢800年の大木です。高さ約25m、幹周り約5.5m。平安時代末に、戦乱に敗れたある女官を偲ぶために植えられたという伝説が残っています。



②① 石浦大橋 (県指定)

江戸時代の元禄11(1698)年、豊後中道の指出村と石浦村の間に架けられた頑強な石橋で、昭和50年まで使用されました。現在はおおはし歴史公園に移築復元されています。

③③ 筥崎八幡宮の大イチョウ



②① 石浦大橋

②② 山本郡竹野郡郡界標石

おおはし歴史公園

①⑥ 飯田の渡し場

島の猿田彦大神

こけら観音像

②① 常持殿

①⑨ 発久寺跡

①⑦ 恵利井堰の忘れ石

②③ 安田森の天神様

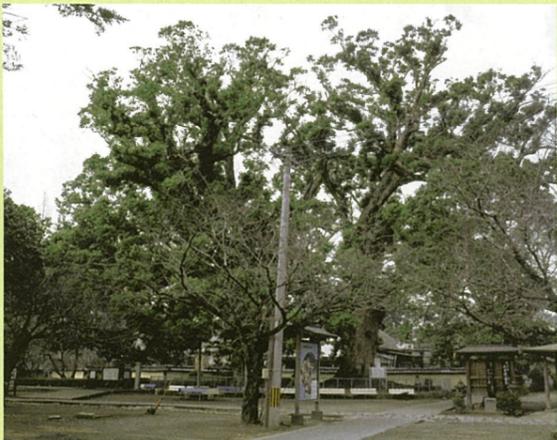
①⑧ 発久南寺跡

①⑤ 格屋敷遺跡



①⑧ 発久南寺跡

野氏の援助の下、聖光上人が植えたといわれています。現在の建物のほとんどは、火の後に建て直されています。



③① 善導寺の大樟 (県指定)

山門をくぐって右側に樟の巨木の枝葉が天を覆うばかりに繁っています。聖光上人が植えたといわれ、推定樹齢は800年といわれています。



①⑤ 格屋敷遺跡

大橋町常持字角屋敷に位置する遺跡で、平成12年に行われた発掘調査では、陶磁器や、古墳時代と中世の生活跡が出土しています。

文化財についてのお問合せは

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町15-3（市役所12階）

☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714 E-mail: bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp

埋蔵文化財をはじめとする各種の文化財の調査・研究・収集・保存・活用・周知普及等を行っています。

■久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町1830番地6

（えーるピア敷地内）

（TEL）0942-34-4995

（FAX）0942-34-5045

市内の出土品を整理・収蔵・保管・研究
しています。体験学習講座や

資料の公開、貸し出し等を通して、久留米市民の歴史教育に利用して
いただく施設です。

※土器や石器など埋蔵（地中から出土した）文化財を扱っています。



▲久留米埋蔵文化財センター

■久留米文化財収蔵館

久留米市諏訪野町1830番地6（えーるピア敷地内）

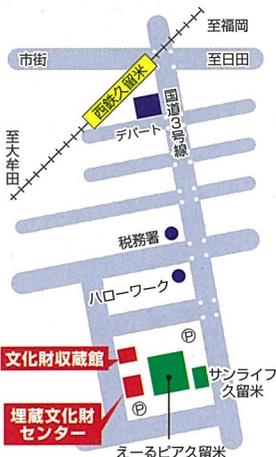
（TEL）0942-38-6194

博物館建設に備え、地域にある貴重な資料の散逸を防ぎ、収蔵・保管
をする施設です。また、郷土の歴史を知る上で、重要な資料の調査を
行い、展示などを通じて、資料の公開・学習のひろばとして普及活動
も行っています。

※古文書や絵画など埋蔵文化財以外の文化財を扱っています。



▲久留米文化財収蔵館



善導寺・大橋校区の文化財マップ

平成22年3月31日

発行：久留米市

編集：文化観光部文化財保護課